

健康広場とタイアップ!

9月は世界アルツハイマー月間です

市は、住民の皆さんに認知症について正しい理解を深めてもらうため、認知症について相談を受けたり、出前トークで解説したりしています。

また、9月の「世界アルツハイマー月間」には、のぼり旗の掲出や図書館に認知症関連の特設コーナーを設けるなど、認知症に関する広報・啓発活動を行っています。

認知症は、早めに対応することで進行を遅らせることができるほか、医療・福祉・就労の支援を受けることもできます。誰でも安心して暮らせる庄原市を目指して、この機会に「認知症」について考えてみませんか？

※世界アルツハイマー月間は、1994年「国際アルツハイマー病協会」がWHO（世界保健機構）と共同で制定しました。毎年9月21日が「世界アルツハイマーデー」、9月が「世界アルツハイマー月間」と定められており、全世界で認知症に関する正しい知識について普及啓発活動が実施されています。



【図書館西城分館の特設コーナー】

認知症カフェに来てみませんか？

認知症カフェは、認知症の人やその家族、認知症について知りたい人など、誰でも参加できる「集いの場所」です。認知症について話を聞いたり、認知症に関する相談をしたりすることができます。

認知症は、高齢者だけの病気ではありません。65歳未満で発症する「若年性認知症」もあります。若年性認知症は患者数も少なく、本人や家族も気づきにくいことから発見が遅れがちになることに加え、異変を感じて医療機関を受診しても、診断に時間がかかることがあります。

まずは、カフェに来てみませんか？庄原・西城・東城・比和の4地域で毎月1回開催されています。毎月の開催日時は、広報しょうばらの「お知らせ」に掲載しています。

(9月号は21ページ)



認知症カフェを開催する

おれんじ かい 庄原橙の会代表
わたなべ ようこ 渡邊 蓉子さん

「認知症カフェに来て、介護の困りごとや愚痴を何でもたくさん話してください。人と話すことで、気持ちが楽になったり元気がもらえたりします。心休まるひとときを一緒に過ごしましょう」

高齢者福祉課 地域包括支援センター係 いろいろこ 0824-73-1165